

職員による自己評価

A環境面

学習や手作業が出来る部屋と体を動かして遊べる部屋になっているので、お互いに目的にあった仕方で過ごすことが出来ている。

B児童への支援内容

計画書に基づいて支援が出来ている。

C関係機関との連携

学校家庭との情報共有が出来ている。

D保護者への説明責任・信頼関係

面談の実施が必ずなされている。必要な時には電話での連携もすぐに行えるようになっている。

E非常対応

周囲の事業所との連携も取り災害時の情報共有もできている。

保護者による評価

A環境面

十分なスペース確保が出来ている。
クールダウンスペースが確保されている。

B児童への支援内容

職員の配置数がしっかりしている。
子供が好きな職員ときらいな職員がいる。

C事業所からの情報発信

面談や日々の連絡帳で理解している。
年間行事がたくさんあり子ども楽しみにしている。
保護者会の予定無

D非常対応

避難訓練が一回のみ参加できた。
消火訓練が楽しかった。

事業所内での分析

【共通点】

スペースの確保が出来ている。
学校・家族との情報共有が出来ており、連携が取れている。

【相違点】

緊急時対応マニュアルの周知
保護者への避難訓練の周知。回数を増やしても良いのでは？
緊急事態の際の連絡先などをしっかり共有されているか。

分析・検討してみて…

事業所の強み

事業所自体では、療育の内容が濃いとの評判を得ており、療育には自信を持って支援が出来ます。

また、連絡も密にとることが出来ているので、保護者との連携もうまくとれています。実際に支援するスタッフが信頼されているのは一番だと思うので引き続き頑張っていきたい。

事業所の改善点

緊急事態の際の対応についてももう少しいろいろ周知する必要があるのではないか。避難訓練の周知も心がけたい。回数を増やすことにより、また保護者の協力を得ることにより実際に何か起きた時に行うことができる。

事業所の改善への取り組み

緊急事態の際のマニュアルを指導員、保護者に周知するよう心がけます。

去年に引き続き避難訓練を行う頻度多くし、また色々な曜日に行うようにして、なるべく全ての利用者が参加出来るよう工夫していきます。

BCPのシュミレーションも今年から初めてではありますが、子どもたちを巻き込みながら行い、いざというとききちんと動けるようにしたいです。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～